県政ティーミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

（令和７年３月４日開催）

１　開催概要

・開 催 日　　令和７年３月４日(火)　11:00～12:00
・会　　場　　県庁３階　特別会議室
・参加グループ　長野県難聴児の療育環境を考える会
・懇談内容　　耳が聴こえにくい子どもたちの子育て環境について

２　参加者のご意見の概要とご意見に対する対応状況

（知事の発言）
・障がいのある子どもたちの現状に向き合い、誰一人取り残されない県づくりを進めていきたい。
・いただいたご意見を踏まえて、長野県として前進できるように考える。

（１）早期支援教室について

（ご意見の概要）
・早期支援教室への手厚い職員配置と、職員の専門性の担保をお願いしたい。
・早期支援教室の職員数は非常に少なく、指導を受けられる時間も地域によって差がある。
・また、早期支援教室に言語聴覚士の方を配置してほしい。

（知事の発言）
・早期支援教室への職員配置は、国のルール（配置基準）がないので教育委員会から実態を教えてもらい、どうするか考えたい。
・専門性の話は、障がい者の皆さんの教育は専門性が一定程度ある人たちに考えてもらわないとなかなか難しいところはある。
・職員の質・量ともに教育委員会としっかり考えるようにしたい。

（ご意見への対応）
・早期支援担当の職員を増員し、早期支援教室の回数をこれまでより月１～２回程度増やし、月３回程度（本人・保護者のニーズに応じて柔軟に対応）実施するようにします。
・難聴児支援センターの言語聴覚士（ＳＴ）をろう学校へ派遣し、保護者相談会をまずは試行的に実施し、ニーズや効果を踏まえながら、より専門性の高い支援が行えるよう充実を図ってまいります。

［特別支援教育課］

（２）ろう学校への通学環境整備について

（ご意見の概要）
・ろう学校へ通園・通学を希望する者が通いやすい環境を整えてほしい。
・ろう学校幼稚部へ通おうと思うと、受け入れ時間の短さや、長期休暇などがあり、夫婦どちらかが仕事を辞めなければならない。
・聞こえる子を育てる親と同じように仕事も生活も子どもの療育も諦めず、安心して生活が送れるよう、ろう学校幼稚部に認定こども園的機能や、通園バスなどの環境を整えていただきたい。

（ご意見への対応）
・通園される児童の実情を踏まえつつ、通園バスや預かり保育等も含め、より通いやすい環境整備について研究してまいります。

［特別支援教育課］

（ご意見の概要）
・県内のどこに住んでいても安心してろう学校に通えるようにしてほしい。
・県内にはろう学校が長野市と松本市にしかなく、南信や東信からろう学校に通う負担が大きい。
・交通費への支援や南信（及び木曽郡）への先生の配置などをお願いしたい。
（ご意見への対応）
・早期支援担当の職員を増やして、南信や東信地域のろう学校のサテライト教室等で行っている早期支援教室の回数を増やすとともに、お子さんが通っている保育園等での出張教室を行います。

［特別支援教育課］

（３）補聴機器等の助成について

（ご意見の概要）
・補聴機器等の助成拡充をお願いしたい。
・例えば人工内耳のスピーチプロセッサは一台約100万円する。
・県内でも市町村によって助成額に差があり、電池については全国214市町村で購入助成があるのに県内ではどの市町村も助成を行っていない。
（ご意見への対応）
・市町村が実施主体となるこれらの助成事業については、地域の実情によって支援の必要性が異なるものではありませんので、全国一律の制度であることが適当と考えます。
・引き続き、国に対し、補聴機器及び周辺機器の購入費用等について、補装具費支給の対象拡大又は新たな公的補助制度の創設を要望してまいります。

［障がい者支援課］

（問合せ先）
担　当　企画振興部広報・共創推進課
　　対話・共創推進係　師岡、丹羽
電　話　026-235-7190
E-mail　kyoso@pref.nagano.lg.jp